

はあとふる ふくしま



「はあとふるふくしま」の作成経費の一部として、共同募金配分金および特別賛助会員の寄付金を使用させていただいております。

目の不自由な方のために「はあとふる ふくしま」は音訳版及び点訳版を作成しています。

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会



No.276

9月
2019

特集

浜通りにおける介護施設等の状況と 介護人材確保のための取組み



やりたいことを見つけ出し、
自主的に取組むための
見守りをしていく

NPO法人 あだたら青い空では、子ども食堂「ハラクチャー」や、被災者支援のハイキング、学習支援教室など通して、一人ひとりが自立するための活動をサポートしています。

★詳しくは6ページでご紹介

お知らせ

第88回 全国民生委員児童委員大会 福島大会開催！

2019年10月17日(木)・18日(金)
ビッグパレットふくしま(郡山市)

奨学金貸付制度の就職準備金を利用して 浜通りの介護施設で働く方の声



介護老人保健施設
小名浜ときわ苑 介護職員
たまや あき
玉谷 亜紀さん

いわき市に生まれ育ち、4年前に奨学金貸付制度を活用し、東京からウターンを果たした玉谷さん。おばあちゃん子だったことから、介護福祉士という道に進み、東京で着実にキャリアを積んでいた時、東日本大震災が起これ、その2年後には大好きだった祖母が突然の他界。お通夜には、祖母が通っていたデイサービスの職員や医師が制服でかけつけてくれたことに感謝を受け、福島の人々の温かさを実感した出来事だったと話します。

大好きな祖母のために、何かもつとできたことがあったのではないか、震災のときも自分には何もできなかった…。そんな思いがふつふつと込み上げ、この思いを地元の福祉のために生かしたいと、一念発起した玉谷さん。施設見学の際に感じた温かい雰囲気に着か

れ、ときわ苑への入職を決めました。奨学金貸付制度は施設を通して知り、免許取得や車購入の資金にあてました。とても助かったので、この制度をもっと多くの人に知ってほしいと話します。

ときわ苑での勤務が始まり、東京で働いていたときの設備環境との違いに戸惑いや不安を抱き、悩むこともしばしば。しかし都会とはまた違う利用者さんとの距離感や、上司や家族の支えなどもあり、福島で頑張っていることと思えたと話します。都会での経験があつたからこそ今がある、帰ってきてよかったと感じているといいます。

「奨学金貸付制度を利用して福島県で働く多くの方々は、慣れない土地での生活は大変だと思います。しかし不安なことや悩みがあれば上司や家族、友人などに相談して溜め込まないことが一番大事」と自身の経験を振り返る玉谷さん。「介護福祉士は人の人生に携われるやりがいのある仕事です。働く場所がどこであろうと、誇りを持てる素敵な仕事だと思っています」と生き生きとした表情で語ってくれました。

福島の魅力や奨学金貸付制度を 全国にPRしています！

福島県社会福祉協議会では、浜通りで介護職員として働く人材を確保するために、さまざまな取組みを行っています。

取組み 1

福祉のお仕事発見バスツアーの実施



福島県浜通りのまちの様子や雰囲気を実際に見て感じてもらい、施設見学を通じて働く環境を知ってもらうことを目的に、東京駅や仙台駅発着のバスツアーを企画・実施しています。参加費は無料で、どなたでも参加できます。

取組み 2

県外の就職相談会やイベントへの参加



全国各地で行われる就職相談会やイベントに参加し、福島の情報発信や施設職員との交流、就職相談を行っています。

◀東京での就職相談会

被災地における福祉・介護人材に対する奨学金貸付事業

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 〒960-8141 福島県福島市渡利字七社宮111

TEL. 024-526-0045 <http://www.f-kaigoshogaku.jp/>

ふくしまで、咲こう。

検索

